

令和4年度 1年学年通信 10月号

石川県立金沢錦丘高等学校
1年学年団



高校1年生の生活もいよいよ後半戦に突入！

時がたつのは早いもので、入学してからちょうど半年が経過しました。高校生になってからのこの半年間、生活スタイルの変化や勉強の大変さ、初めて経験することなどに戸惑いつつも、新しい出会いがあったり、自分の成長が実感できたり、視野が広がったり……と、きっと充実した時間を過ごせたのではないのでしょうか。

これまでの期間は、高校生活に慣れることや正しい生活スタイルを確立することが第一でしたが、高校生活にも慣れてきた今、そろそろ自分の夢に向かっていろいろなことにチャレンジしていきませんか？ 類型登録を進めるにあたって、自分自身を見つめ直したり、将来の夢について悩んだり考えたりしたことで、きっと入学当初とは違った視点で物事を見ることができるようになってきているでしょう。高校1年生の後半戦が始まるこの時期に、これまでの生活をしっかり振り返って、残りの半年間が有意義なものになるようにしてください。

<中間試験直前チェックポイント>

- 睡眠時間を削って一夜漬けをしよう。 → 試験中しっかり頭が働きますか？
- 試験範囲でヤマを張り、そこに賭けている。 → その範囲が出なかったらどうなりますか？
- まだ手つかずの範囲をこれから頑張ろう。 → これまでにやった範囲は本当にもう大丈夫ですか？
- 提出課題を仕上げるのに精いっぱいだ。 → その「作業」で身につく力はありますか？
- 気分転換と称してスマホを使っている。 → 気分転換する時間の上限は決めていますか？
- その日1日の計画を立てずに勉強している。 → 計画なしで最善の1日を過ごせますか？

チェックがついた人は、ぜひ自分の取り組み方を見直してみてください。

行事予定(10月) ※太枠は50分授業

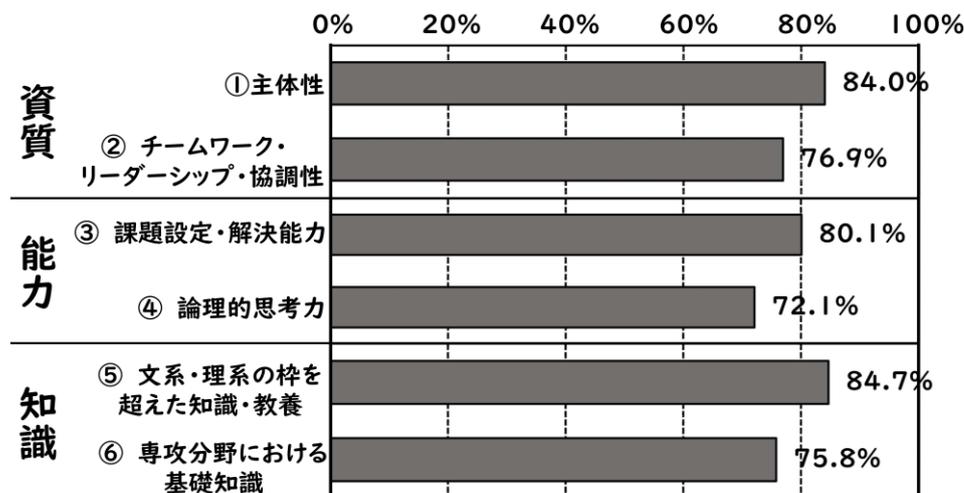
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 中間試験①	4 中間試験②	5 中間試験③	6 中間試験④ いじめアンケート	7	8	9
10[スポーツの日]	11 完全冬服	12	13	14 フィールドワーク (5~7限)	15	16
17 耳鼻科検診 (希望者)	18	19	20	21	22	23
24	25 思春期講座 (6~7限)	26 教室ワックスがけ (7限後)	27 校内読書会	28	29 進研模試	30 金沢マラソン ボランティア
31	11/1 学校公開	2	3[文化の日] 月曜授業 教育講演会(午後)	4	5	6

★Foresight(手帳)の活用★

先月から毎週金曜日の朝学習を手帳時間に設定していますが、物事の優先順位をつけたり見通しをもって生活したりすることが少しずつできるようになってきましたか？ まだうまく活用できていない人は、年度当初に配付した活用例をもう一度確認したり、周りの友達に使い方を見せてもらったりしてみてください。試行錯誤を繰り返しながら、自分に合った上手な活用法を模索していきましょう。

採用の観点から企業が特に期待する資質・能力・知識（経団連の調査から）

今年1月、日本経済団体連合会（経団連）が「採用と大学改革への期待に関するアンケート」という調査の結果を発表しました（https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/004_kekka.pdf）。その結果の中から「大卒者に特に期待する資質・能力・知識」として70%以上の企業が挙げたものを紹介します。大卒者に対する調査ではありますが、



「企業が学生に何を求めているのか」がよくわかる調査です。

まず、①主体性があります。日々の授業や予習・復習、部活動などに主体的に取り組んでいますか？もし言われたことをただこなすだけになっていたら、後半戦に入るこのタイミングでぜひ仕切り直しを。

②～④はどれもよく言われているものですね。日々の生活や学習に加え、総合的な探究の時間の活動などにおいてもぜひ高めていきましょう。

⑤について、みなさんはどう捉えますか？9/30に文理選択仮調査がありましたが、「文系だから数学はできなくてもいい」というような考えは通用しないということです。⑥にある通り、自分の選択した分野の学習を頑張るのは当然のことですが、企業としては、文理関係なく知識や教養を高めておいて欲しいということのようです。得意・不得意は誰にでもあるものですが、苦手だからと切り捨てず主体的に粘り強く取り組み、少しずつ高めていきましょう。

なお、今回は70%以上の企業が挙げた項目について紹介しましたが、それ以外にも「学び続ける力（36.2%）」や「数理・データサイエンス・AI・ITに関する専門知識（34.4%）」など、いろいろな資質・能力・知識が必要とされています。「なんだ、3分の1の企業しか挙げていないのか」と思ったあなた、その認識はちょっと危険かもしれません。この調査は、資質・能力・知識それぞれ3つまで選択可能という調査だったので、優先順位の関係で選択できなかっただけの企業も相当数あるのではないのでしょうか。このように考えながらデータを見るだけでも視野が広がるので、ぜひ一度自分の目で読んでみてください。きっと今後高校生活を送っていく上での意識が変わると思いますよ。

ベネッセ総合学カテスト（進研模試）

10月29日（土）は進研模試の日です。進研模試を受験するのは約46万人で、大学入学共通テストの受験者数は約48万人ですから、進研模試は入試本番と同じくらいの規模の試験です。全国規模の模試ですから、ただ受験するのではなく、貴重なデータである「合格ライン」をぜひ上手に活用しましょう。

【活用例】志望大学の合格ラインが150点だった場合

- 得意教科、不得意教科の差があまりない…… 目標150点 = 国語50点 + 数学50点 + 英語50点
- 英語と国語がわりと得意…… 目標150点 = 国語55点 + 数学40点 + 英語55点
- 数学は得意だが英語が不得意…… 目標150点 = 国語50点 + 数学65点 + 英語35点

1. 上のように、自分の志望校の合格ラインを3教科で振り分けてみよう。

目標点 点 = 国語 点 + 数学 点 + 英語 点

2. 前回の進研模試の結果を見て、各教科でその点数を取るためには、どの問題が解けていればよかったのかマーカーで色をつけてみよう（ちなみに、数学では①と②以降の(1)ができれば41点でした）。
3. 色をつけた問題が解けるようになるには、普段の学習で何をすればいいか考えてみよう。（例えば、サクシードのA問題がきちんとできるようになればその点数が取れる！など）
4. 3で考えたことを強く意識しながら日々の学習にとりくみましょう。

次の進研模試は1月です。今回の結果が返ってきたら、今度は1月の模試に向けて1～4の流れで弱点を1つずつ潰していきましょう。自分の弱点分野と目標までの距離を知ることができるのが進研模試ですから、試験前の勉強だけでなく、試験後の取り組みも大事にしていきましょう。